

## 令和2年度 埼玉医科大学看護学生実習指導者講習会 講義計画

※厚生労働省に申請中です。変更する場合があります。

区分	科目	方法	時間	講師	授業概要
教育および看護に関する科目 一〇時間	教育原理	講義	6	岩川直樹	教育の意義や基本的な概念を学ぶ。 1)教育の意義、目的 2)教育活動の特性
	教育心理	講義	18	田之内厚三 (12時間) 庄野伸幸 (6時間)	人間の発達と心理的特徴及び自己を知るための方法を学び、指導的かかわりについて理解する。 青年の発達と学習過程における心理的な特徴を学ぶ。
	教育方法	講義	9	米岡裕美 (6時間)	教育の基本的な方法や技術について理解する。 1)授業の形態 2)授業の方法 3)教材の活用
				川村勇樹 (3時間)	医学・看護教育における新たな教育方法について理解する。
	看護教育の方法	講義	9	菊池チトセ 千田みゆき 今野葉月 (各3時間)	看護教育で用いる教育方法と技術を理解する。 1)授業の形態 2)授業の方法 3)教材の活用
	学生体験実習	実習演習	14	職員キャリアアップセンター 実習指導者	看護学生の立場で臨地実習を体験し、実習場における看護教育の特性、意義について理解する。 学生体験実習オリエンテーション
	教育評価	講義	6	米岡裕美	教育評価の意義と方法を理解する。 1)教育評価の目的と特質 2)教育評価の方法と基準
	看護論	講義	18	所ミヨ子 職員キャリアアップセンター	看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げる。 1)看護の概念 2)看護の機能と役割 3)看護理論の概要 4)看護理論と実践との関係 5)看護観に基づいた看護実践の記録
	看護教育課程 I	講義	9	浅見多紀子	看護教育課程の概要を学び、看護教育についての理解を深め、臨地実習の位置づけを理解する。 1)看護教育課程(指定規則、指導要領、手引等)の理解 2)教育計画と内容 3)臨地実習のねらいと方法 4)看護過程
	看護教育課程 II	講義	21	小林由紀子(基礎) 粟生田友子(成人) 瀧山文恵(老年) 大森智美(母性) 霜田敏子(小児) 大賀淳子(精神) 千田みゆき(在宅) (各3時間)	基礎看護学 成人看護学 老年看護学 母性看護学 小児看護学 精神看護学 在宅看護学 各領域の教育目的・目標を学び、実習の位置づけを理解する。
実習指導に関する科目 九十五・五時間	実習指導の原理	講義	15	富田幸江 (4.5時間)	実習指導の基本と実習指導のあり方について理解する。 1)臨地実習の意義 2)実習指導者の役割 3)実習指導方法
				村上由美子(母性) 野田智子(小児) 大賀淳子(精神) 中村美智子(在宅) (各1.5時間)	3)実習指導方法 (母性看護学,小児看護学,精神看護学,在宅看護学)
				小林由紀子 (4.5時間)	4)実習指導案の意義と内容
	実習指導の評価	講義	15	久保かほる 職員キャリアアップセンター	実習における評価の意義や方法を理解する。 1)実習評価の意義 2)実習評価の方法 3)実習評価と指導者の役割
	実習指導案作成の実際	演習	30	小林由起子・本谷久美子 成田みぎわ・清水百子 小池啓子・村上由美子 白髭英雄・加藤静子 小崎妙子・石橋直美 菊池衛	実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。 グループに分かれ実習指導案を作成し発表する。 1)実習指導案の作成(課程別、学年別、授業科目別等)
実習指導の実際	実習演習	35.5	実習担当教員 実習指導者 職員キャリアアップセンター	2)実習指導の展開と評価 学生を1名受け持ち、作成した指導案に基づいて実習指導を行い評価する。その過程を通して実習指導の在り方についての理解を深める。 実習指導の実際オリエンテーション	

区分	科目	方法	時間	講師	授業概要
看護師2年課程通信教育制に関する科目二十一時間	看護師2年課程通信制の教育制度	講義	3	高松英美	看護師2年課程通信制教育の基本的な考え方およびその特徴について理解する。 1)通信制の目的・意義 2)通信制の特徴・考え方・運営の基本
	学生の到達度の理解	講義	6	高松英美	通信課程で学ぶ学生の特徴を理解する。 1)運営形態別の実習指導方法、考え方、留意点 2)学生の到達度の把握方法  通信課程で学ぶ学生の実習指導について事例を通じて理解する。 1)事例(紙上学生)による実習指導演習
	実習指導の方法と留意点	講義	12	北田良子	通信課程で学ぶ学生の実習指導について事例を通じて理解する。 1)事例(紙上学生)による実習指導演習
その他二十一時間	地域包括ケア	講義	1.5	齋木実	有効で効果的なケアを提供するために地域包括ケアシステムを学び、実習指導者としての視野を広げる。
	医療政策	講義	1.5	宮山徳司	有効で効果的なケアを提供するための政策について学び、実習指導者としての視野を広げる。
	災害・救急看護	講義	3	白井美登里	災害・救急看護に必要な知識や技術を学習し、災害・救急看護の理解を深める。
	周産期看護	講義	1.5	谷島春江	周産期看護に必要な知識・技術を学習し、周産期看護の理解を深める。
	精神保健	講義	1.5	石田欣也	精神保健の視点・考え方など幅広い知識や技術を理解する。
	グループマネジメント	講義 演習	6	前田浩司 原嶋弥生 (各1.5時間) 職員キャリアアップセンター (3時間)	組織における自己の位置づけを認識し、組織の目的を達成するために必要な行動がとれるように、組織集団の基本概念や集団の力学的諸機能を学ぶ。 集団におけるリーダーシップ、メンバーシップを自覚して行動できる。
	看護倫理	講義	3	関根いずみ	看護実践における倫理的諸問題を学ぶ。 1)医療・看護の関連する倫理的諸問題 2)看護実践における倫理的判断と責任
	看護の動向	講義	3	松永晴子	日本および海外の看護ならびに看護教育の現状を理解する。 1)看護を取り巻く社会的背景 2)これからの教育・研修の方向性
開講式 オリエンテーション		3	職員キャリアアップセンター		
閉講式		0.5	職員キャリアアップセンター		
合計			251		